

令和4年度 城陽中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			国語	数学	理科	国語	数学	理科
3 年	学校	170	70	55	50	4.6	10.0	3.2
	大阪市	—	66	50	46	5.5	12.2	4.4
4月19日	全国	—	69.0	51.4	49.3	4.3	10.8	3.4

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会	数学	理科※	英語	国語	社会	数学	理科※	英語
3 年	学校	165	56.1	58.2	59.0	61.3	54.0	11.5	3.9	8.7	4.8	6.6
	大阪市	—	53.4	54.7	54.9	55.8	53.7	11.9	4.3	9.4	5.3	6.8
	大阪府	—	53.8	55.4	56.0	55.9	54.2	12.1	4.6	9.6	5.8	7.1

※ 3年生の理科はC問題を選択

令和4年度 城陽中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査

大阪市と比較して、全体的な結果として+4ポイントであった。

＜国語＞大阪市と比較して+1.0ポイントであった。

各領域の大阪府との比較については

「話すこと・聞くこと」の領域において+5.8ポイントであった。

「書くこと」の領域において+2.3ポイントであった。

「読むこと」の領域において+4.7ポイントであった。

＜数学＞大阪市と比較して+5ポイントであった。

各領域の大阪府との比較については

「数と式」の領域において+8ポイントであった。

「図形」の領域において+1.5ポイントであった。

「関数」の領域において+3.8ポイントであった。

「データの活用」の領域において+2.2ポイントであった。

＜理科＞大阪市と比較して+4ポイントであった。

各領域の大阪府との比較については

「エネルギー」を柱とする領域において+2.2ポイントであった。

「粒子」を柱とする領域において+6.2ポイントであった。

「生命」を柱とする領域において+3.3ポイントであった。

「地球」を柱とする領域において+3.2ポイントであった。

各教科とも基礎学力の定着とともに、発展的な学習についても積極的に取り組んでいる。生徒質問紙からも各教科の学習をすることが自分たちの生活にとって大切であるという意識をもっていることがうかがえる。

○中学生チャレンジテスト(3年生)

〈成果〉平均点は大阪府と比較して+13.3ポイントであった。

〈国語〉大阪府と比較して全体的なポイントは+2.3ポイントであった。

各領域の大阪府との比較については

「話すこと・聞くこと」の領域において+0.1ポイントであった。

「書くこと」の領域において+0.4ポイントであった。

「読むこと」の領域において+1.2ポイントであった。

〈社会〉大阪府と比較して全体的なポイントは2.8ポイントであった。

各領域の大阪府との比較については

地理的分野において+2.6ポイントであった。

歴史的分野において+0.3ポイントであった。

〈数学〉大阪府と比較して全体的なポイントは+3.0ポイントであった。

各領域の大阪府との比較については

「数と式」の領域において+0.4ポイントであった。

「図形」の領域において+0.3ポイントであった。

「関数」の領域において+1.1ポイントであった。

「データの活用」の領域において+1.3ポイントであった。

〈理科C〉大阪府と比較して全体的なポイントは+5.4ポイントであった。

各領域の大阪府との比較については

「エネルギー」の領域において+1.6ポイントであった。

「粒子」の領域において+1.2ポイントであった。

「生命」の領域において1.6ポイントであった。

「地球」の領域において+0.7ポイントであった。

令和4年度 城陽中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

〈英語〉大阪府と比較して全体的なポイントは－0.2ポイントであった。

各領域の大阪府との比較については

「聞くこと」の領域において＋0.1ポイントであった。

「読むこと」の領域については＋0.1ポイントであった。

「書くこと」の領域については－0.3ポイントであった。

各教科とも基礎学力の定着とともに、発展的な学習についても積極的に取り組んでいる。生徒アンケートについても肯定的な回答も比較的多かった。今後も指導を継続し、学習のつまずきや生活習慣などに改善が必要な生徒にも丁寧な指導を心がけていく。

【今後に向けて】

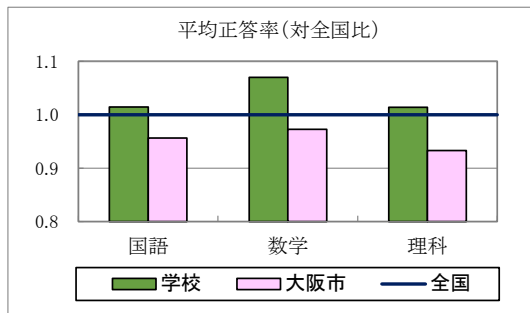
この数年教職員の指導方法の工夫改善、保護者・地域の協力により生徒の授業態度も良く、落ち着いた環境で学校生活を送れている。これまでも基礎学力の定着には学校全体で取り組んできているが、今後も習熟度授業など生徒の理解度に応じた授業を実施していく。

令和4年度 城陽中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

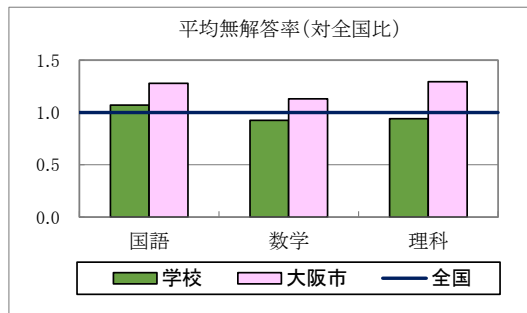
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)		
	国語	数学	理科
学校	70	55	50
大阪市	66	50	46
全国	69.0	51.4	49.3

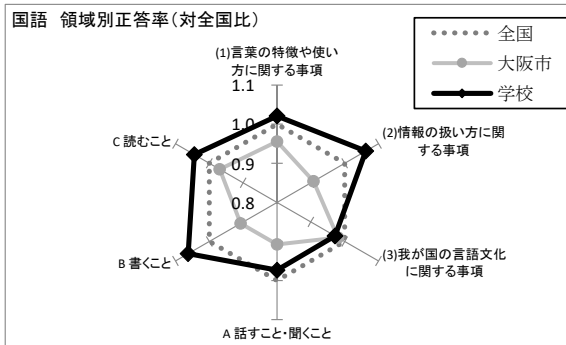
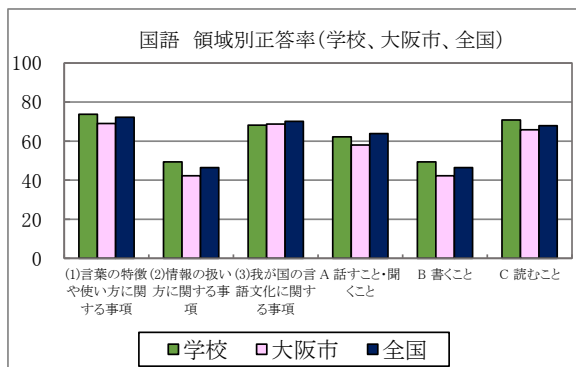


	平均無解答率(%)		
	国語	数学	理科
学校	4.6	10.0	3.2
大阪市	5.5	12.2	4.4
全国	4.3	10.8	3.4



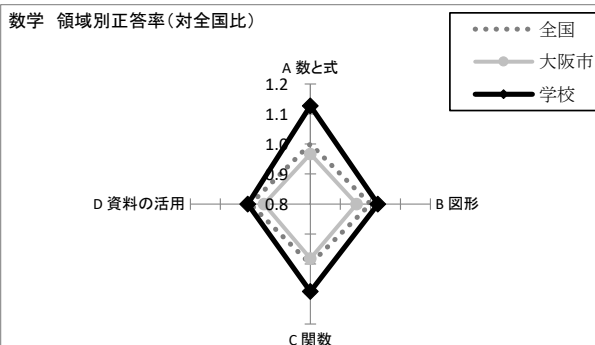
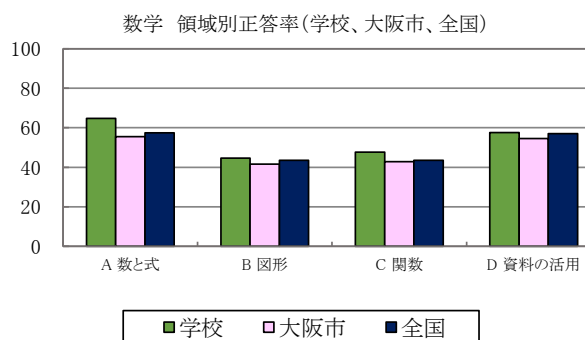
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	6	73.7	69.0	72.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	49.4	42.2	46.5
(3)我が国の言語文化 に関する事項	3	68.2	68.8	70.2
A 話すこと・聞くこと	3	62.2	58.0	63.9
B 書くこと	1	49.4	42.2	46.5
C 読むこと	2	70.9	65.8	67.9



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	64.7	55.5	57.4
B 図形	3	44.7	41.6	43.6
C 関数	3	47.6	42.8	43.6
D データの活用	3	57.6	54.5	57.1



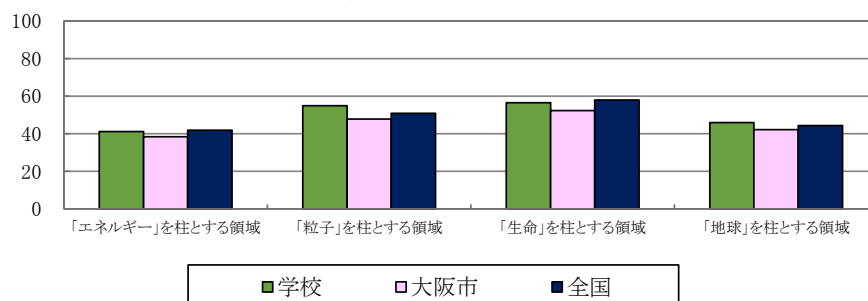
令和4年度 城陽中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

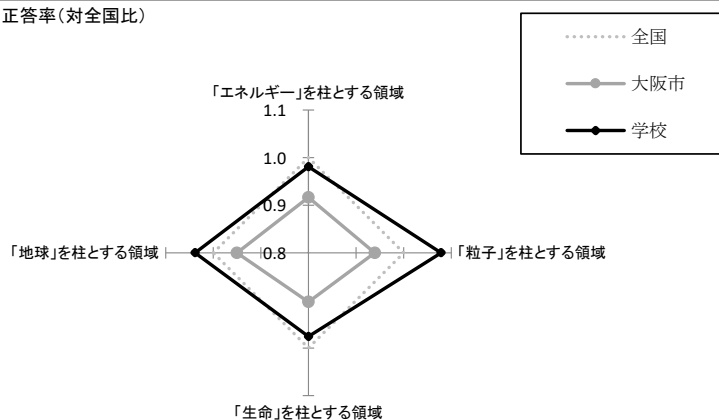
【理 科】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
「エネルギー」を 柱とする領域	6	41.1	38.4	41.9
「粒子」を柱とする 領域	5	54.9	47.8	50.9
「生命」を柱とする 領域	5	56.5	52.3	57.9
「地球」を柱とする 領域	6	46.0	42.1	44.3

理科 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



理科 領域別正答率(対全国比)



令和4年度 城陽中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

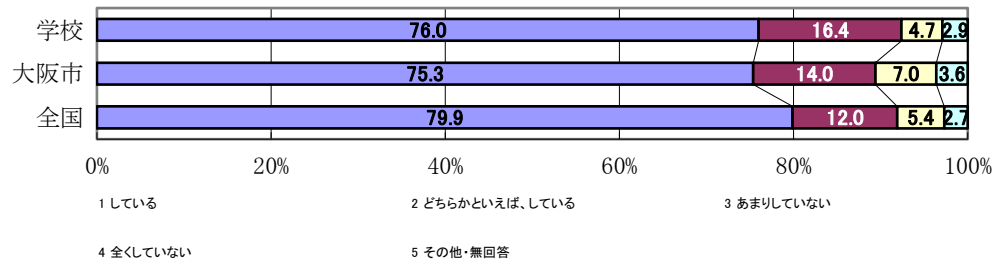
生徒質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

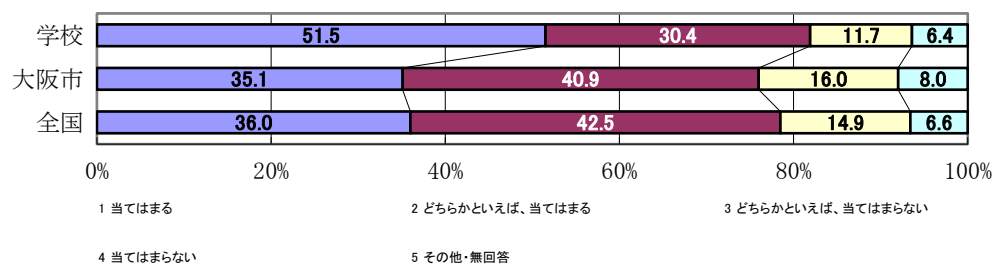
1

朝食を毎日食べていますか



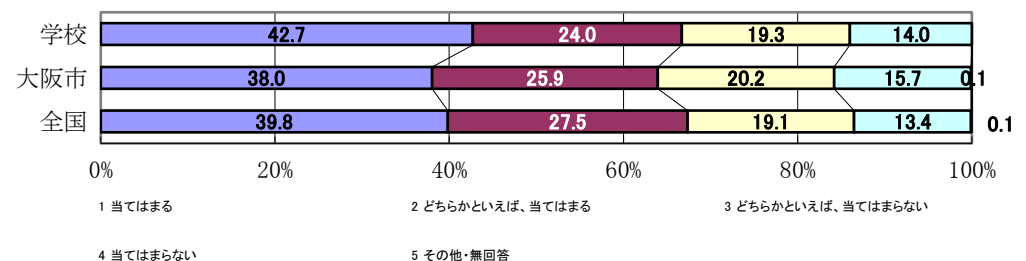
7

自分には、よいところがあると思いますか



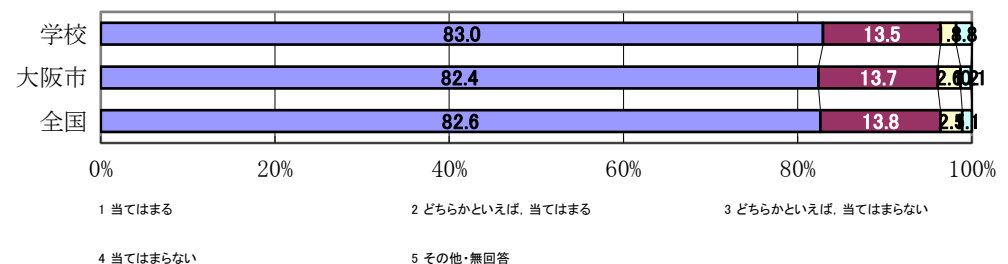
9

将来の夢や目標を持っていますか



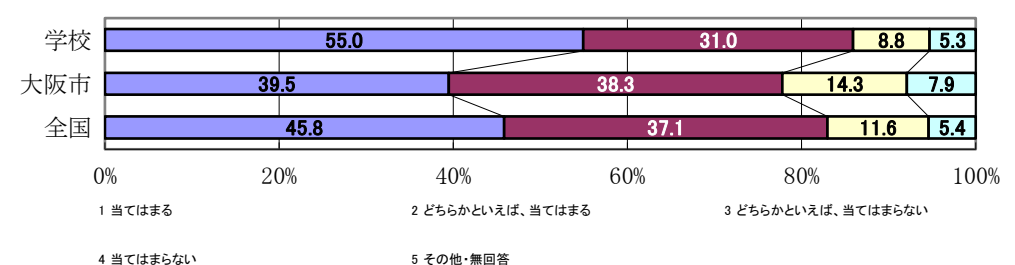
13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



16

学校に行くのは楽しいと思いますか



令和4年度 城陽中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

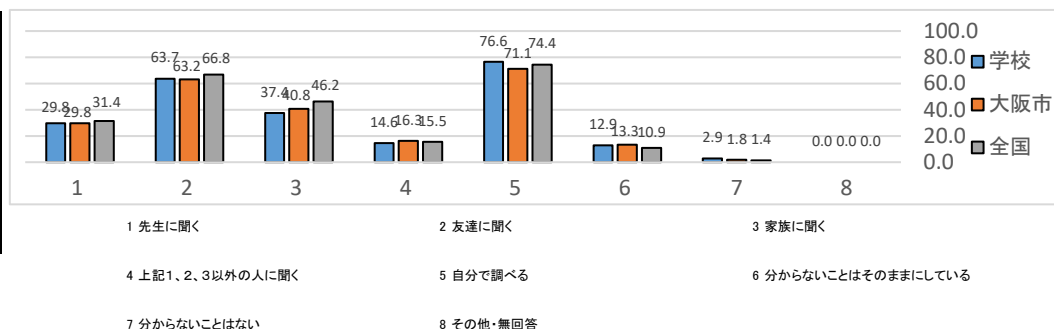
生徒質問紙より

質問番号

質問事項

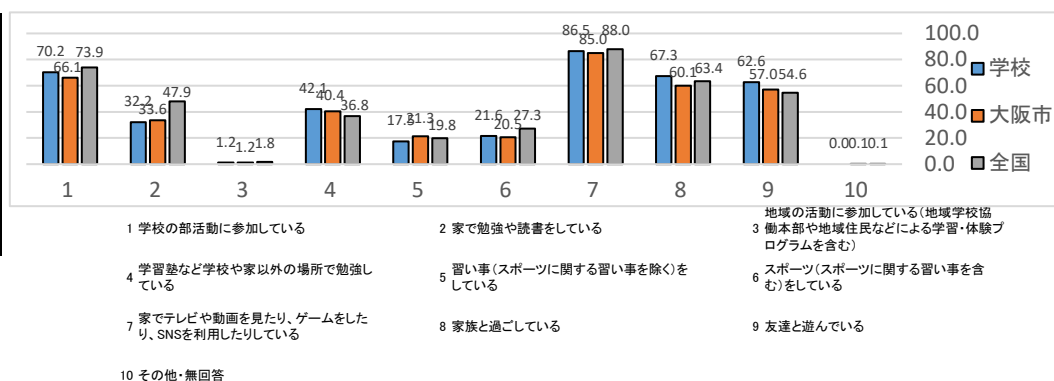
19

家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか(複数選択)



31

放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか(複数選択)



令和4年度 城陽中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問紙より

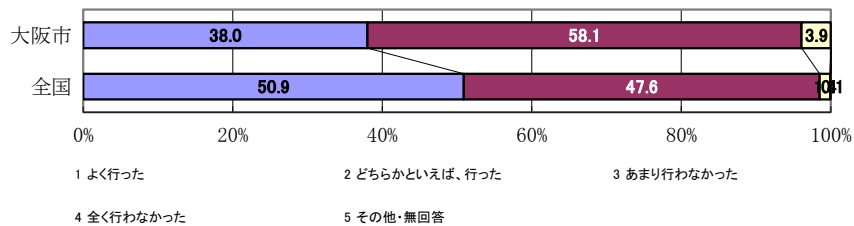
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

質問番号

質問事項

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

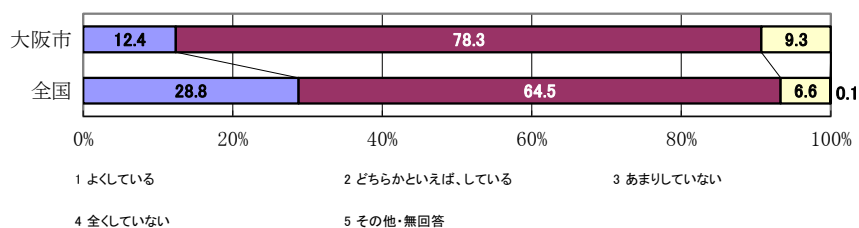
学校 「よく行った」を選択



17

生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

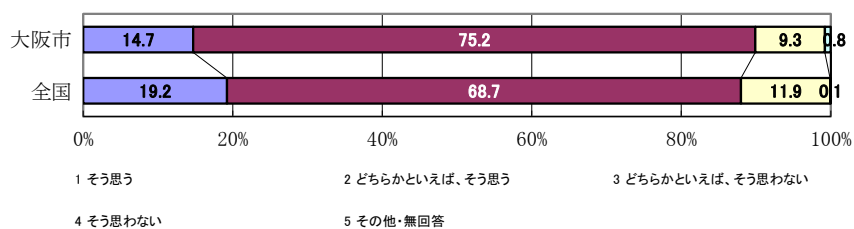
学校 「どちらかといえば、している」を選択



23

調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

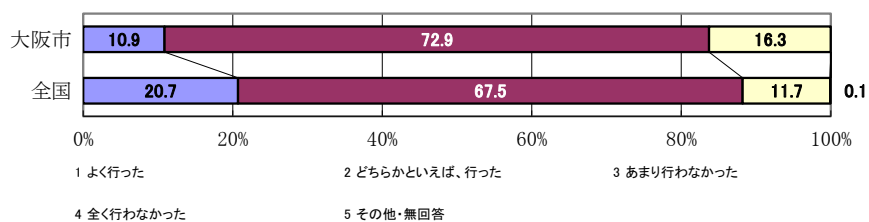
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



30

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



学校 「」を選択

